

事例 2

～地域の特性を活かしたエネルギーの地産地消促進事業費補助金を活用した事例～

葛尾村スマートコミュニティ事業

■事業及び発電設備の概要

葛尾創生電力株式会社は、葛尾村スマートコミュニティの実現を目指し、平成 30 年 10 月に設立された。同社の主な事業内容は、スマートコミュニティ事業（葛尾村中心部でのエネルギー地産地消：特定送配電事業）、小売電気事業、太陽光発電所等の保守管理事業、葛尾村の振興に関する事業である。

福島県葛尾村内では、逆潮流ができないため、スマートコミュニティの構築に当たり、自営線、太陽光発電所、蓄電池を整備する必要があった。

このため、平成 29 年度に東北スマートシティ補助金を得て、マスタープランの策定を行い、平成 30 年度から事業構築、事業設計に着手し、令和 2 年度まで、資源エネルギー庁「スマートコミュニティ導入促進事業費補助金」を活用し、スマートコミュニティ構築の準備を進めてきている。

葛尾創生電力は、令和 2 年末に自営線への切り替え工事を終了させ、令和 3 年以降にシステムを本格的に稼働させる計画に従い、事業を進めてきている。高圧、低圧、一般家庭（100 軒以上）向けに、切り替えが終了したところから電力供給しているが、供給電力のほぼ半分が地産地消の想定で、不足分は市場から調達する計画である。なお、自営線を活用し一般家庭に電力供給する事業は全国初である。

被災地を応援しようとする人たちに電気を購入してもらうべく、出資会社である福島発電株式会社の県北メガソーラー発電所の電気を、特定卸供給の仕組みを使い販売することも検討している。

一般向けの電気料金は、東北電力よりも従量料金を若干下げている。トータルで 1～2%安価となるが、別途、葛尾村の特産品をプレゼントする等で、切り替えのメリットを享受してもらおうと考えている。

■地域貢献の内容①（雇用創出）

葛尾創生電力において、企画、総務、営業等の部門で計 6 人の雇用が創出されている。ただし、現状は利益を出していないため、出資会社である福島発電株式会社との兼務社員が 4 名となっている。

また、太陽光発電設備の点検業務や除草作業も雇用として生まれている。

今後、利益を上げていくとともに、若い人材を雇用していきたいと考えている。

■事業の全体像



導入済み施設

■地域貢献の内容②（災害時電力供給）

系統電源が停止し停電したとしても、3MW の蓄電池を導入しているため、72 時間程度は村内の役場等の重要施設への電力供給が可能である。

その他、災害時の電力供給を可能にすべく、EV を 2 台、充放電器 2 か箇所、急速充電器 1 か所、無停電の電灯を 3 か所整備している。

無停電の電灯では、系統電源が停止しても、スマホの充電程度は可能である。

EV・充放電器は、葛尾創生電力から村役場に貸し出し、村役場がデマンドタクシーに使用している。本事業は、令和 2 年 4 月から開始され、スクールバスの運転手に日中デマンドタクシーの運転手になってもらっている。

■問い合わせ先

葛尾創生電力株式会社

住所：福島県双葉郡葛尾村

大字落合字菅ノ又 14-4

URL：http://www.katsuden-co.jp/